

社会資本総合整備計画（水の安全・安心基盤整備） 事後評価書

平成30年2月14日

計画の名称	八王子市における水循環に係るライフラインの整備						
計画の期間	平成23年度～平成27年度（5年間）	交付対象	八王子市				
計画の目標	下水道整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な環境を創造する。						
計画の成果目標（定量的指標）	①合流式下水道の改善（夾雑物対策）を40%（H23）から100%（H25）に完了させる。 ②流域下水道幹線への接続管建設を0%（H24）から100%（H26）に完了させる。						
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考
			当初現況値 (H23当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H27末)		
①合流式下水道改善率 合流式下水道改善（夾雑物対策）済み箇所／合流式下水道改善（夾雑物対策）の必要な箇所			40%	100%	100%		
②接続管整備率 整備済み延長（km）／整備延長（km）			0%	0%	100%		
全体事業費	合計 (A+B+C)	861百万円 773百万円	A	861百万円 773百万円	B	C	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)
							0.0% 0.0%

凡例 計画値 実績値

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
八王子市の下水道事業は、環境基本計画に基づき実施しているため、事後評価を市の環境の保全等に関する基本的な事項を調査審議するための八王子市環境審議会にて実施。	平成28年12月
	公表の方法
	市ホームページにて公表

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業																	
A1 下水道事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	道路種別	省略 工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H23	H24	H25	H26	H27		
北野処理区																	
A1-2-1	下水道	一般	八王子市	直接	-	合流	新設	夾雑物対策事業（合流改善）	3箇所（水面制御）	八王子市						24 16	第二期八王子市北野処理区地区合流式下水道緊急改善計画
A1-2-2	下水道	一般	八王子市	直接	-	合流	新設	合流改善フォローアップ調査	夾雑物の流出抑制効果の検証	八王子市						18 6	第二期八王子市北野処理区地区合流式下水道緊急改善計画
A1-4-1	下水道	一般	八王子市	直接	-	合流 分流	-	流域統合に伴う流域下水道幹線への接続管の建設	L=0.6km	八王子市						781 745	
南多摩処理区																	
A1-3-1	下水道	一般	八王子市	直接	-	分流雨水	-	南多摩処理区雨水整備事業	基本設計 処理区域面積=1,663ha	八王子市						38 6	
合計														861 773			

B 関連社会資本整備事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

C 効果促進事業																
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
合計																
番号	一体的に実施することにより期待される効果												備考			

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>①夾雑物対策事業 夾雑物除去施設の渦流式水面制御装置を3箇所を設置することにより、対策前の除去率26.5%から対策後の除去率92.3%となり、夾雑物捕捉値（SRV）を89.5%にすることができた。</p> <p>②流域下水道幹線への接続管の建設 流域下水道幹線への接続管工事が完了した。北野処理場で処理している汚水を流域下水道の八王子水再生センターの高度処理施設の活用し下水処理を行うことで、赤潮の原因となる窒素やリンをより多く除去し、河川や東京湾の水環境の向上を図ることができた。</p>											
II 定量的指標の達成状況	指標①（合流式 下水道改善率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因	平成17年度に策定した「八王子市北野処理区地区合流式下水道改善計画」は、夾雑物除去施設を5箇所に設置する計画であったが、整備計画書の策定当初は、2箇所に対策を行っていたため、実績率は40%であった。平成24年度までに残りの3箇所に対策を行い、当初の目標値を達成したため、実績値を100%とした。								
		最終実績値	100%										
	指標②（接続管 整備率）	最終目標値	100%	目標値と実績値 に差が出た要因		北野下水処理場から浅川を横断して、国道16号バイパスの路下にある八王子水再生センターに直結する流域下水道大和田幹線に、平成24年度から27年度にかけて、接続管0.6kmの整備を行い、当初の目標値を達成したため、実績値を100%とした。							
		最終実績値	100%										
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<p>指標①（合流式下水道改善率） 平成17年度から実施してきた「八王子市北野処理区地区合流式下水道改善計画」で事後評価のアドバイザー会議を行い、夾雑物除去施設のストームスクリーン（2箇所）と渦流式水面制御装置（3箇所）の設置による夾雑物の河川への流出削減に関する検証内容について妥当性が確認された。</p> <p>指標②（接続管整備率） 相互融通機能を有している処理場に汚水を流すことにより、震災時にも汚水処理が可能となり、災害に強い下水道を図ることができた。また、老朽化した北野処理場の施設更新費や維持管理費の縮減により、下水道事業経営の効率化を図ることができた。</p>											

3. 特記事項（今後の方針等）

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）の「八王子市における水循環に係る安心・快適な下水道の整備（防災・安全）」にて地震対策、老朽化対策及び浸水対策を実施する。
 なお、長寿命化対策事業（管きよ）は、平成28年度にストックマネジメント支援制度が創設されたことを受け、平成29年度に全処理区を対象としたストックマネジメント計画を策定し、ストックマネジメント支援制度により老朽化対策を実施する。

